

国語

練成口語文法 必修編

Vol.2

• 本書の特色と構成 •

1 本書の特色

- 本書は、既刊の「練成口語文法」を、初学者が学びやすいように、より基本的な内容を精選して、再編成しております。教科書のほとんどの文法履修内容を三分冊で網羅しておりますので、公立入試にも十分対応することができます。
- 内容を精選しておりますので、短期間でも無理なく学習できる量になっています。
- イラストや吹き出しを多数配すなど、紙面構成を工夫し、生徒が学習に取り組みやすい教材になっています。

2 本書の構成

本書は、各単元とも確認問題と練成問題で構成し、問題の前には各単元の基礎知識の習得を目標にした説明を配しています。

◇確認問題

その単元での基礎知識を確認する問題です。説明の流れに沿って出題していますので、基本に立ちかえって、知識を確認しながら学習することができます。

◇練成問題

その単元で学習した基礎知識の定着と、一步進んだ理解とを図る問題です。また、公立の入試問題に対応した問題も適宜取り入れてあります。

7 敬語	6 助詞	5 助動詞	4 副詞・連体詞・接続詞・感動詞	3 動詞・形容詞・形容動詞	2 名詞	1 Vol.1 の復習
28	22	16	12	6	4	2

◆ 目次 ◆

2 名詞

1 名詞の性質

- ・自立語で活用しない。
- ・単独で、あるいは、あとに「が・は・も」などをつけて、文中で主語になることができる。
- ・自立語で活用し、文中で述語になることができる動詞・形容詞・形容動詞を〈用言〉とよぶのに対して、名詞は〈体言〉とよばれる。

2 名詞の種類

① 普通名詞

一般的な物事の名前を表す。

例 犬・ネコ・川・山・本・時間・平和・心・運動

② 固有名詞

人・国・土地の名前、商品名など、特定のそのものだけにつけられた名前を表す。

例 ポチ・タマ・利根川・富士山・枕草子・青森・太平洋

③ 数詞

数量・順序を表す。

例 一つ・二羽・三匹・四頭・五本・第六・いくつ・何度も

④ 形式名詞

それだけでは意味を表さず、常に連体修飾語をつけて用いられる。なお、この場合は、平仮名で書くのが原則である。

例 聞くところによると、彼女はピアノが得意らしい。

(「自分の住んでいるところを教える」の「ところ」は「場所」という意味を表す普通名詞である)

⑤ 代名詞

人称代名詞——人を指示示す。

例 わたし・ぼく・おまえ・あなた・君・彼・彼女・あいつ

指示代名詞——物事・場所・方向などを指示示す。

例 これ・それ・あれ・どれ・ここ・そこ・あそこ・ど

*指示する単語には、代名詞以外のものもある。

例 こう・そう・ああ・どう——副詞

この・その・あの・どの——連体詞

こんな・そんな・あんな・どんな——形容動詞または連体詞

確認問題

1 次のそれぞれの名詞を、Ⓐ普通名詞、Ⓑ固有名詞、Ⓒ数詞のいずれかに分類し、記号で答えなさい。

<input type="checkbox"/> (10)	<input type="checkbox"/> (7)	<input type="checkbox"/> (4)	<input type="checkbox"/> (1)
何台	戦争		
勇気	七時		
いくら			
<input type="checkbox"/> (11)	<input type="checkbox"/> (8)	<input type="checkbox"/> (5)	<input type="checkbox"/> (2)
五月			
<input type="checkbox"/> (12)	<input type="checkbox"/> (9)	<input type="checkbox"/> (6)	<input type="checkbox"/> (3)
お天気	買い物	東京都	
鈴木さん			
アメリカ			



〔お天気〕は、「お天氣」にわかれずに、「お天氣」で一つの名詞だよ。

<input type="checkbox"/> (7)	<input type="checkbox"/> (1)
<input type="checkbox"/> (8)	<input type="checkbox"/> (2)
<input type="checkbox"/> (9)	<input type="checkbox"/> (3)
<input type="checkbox"/> (10)	<input type="checkbox"/> (4)
<input type="checkbox"/> (11)	<input type="checkbox"/> (5)
<input type="checkbox"/> (12)	<input type="checkbox"/> (6)

〔鈴木さん〕は、「鈴木さん」にわかれずに、「鈴木さん」で一つの名詞なのね。



2 次のそれぞれの組の一線部から形式名詞を選び、記号で答えなさい。

練成問題

1 次の文章の一線部の名詞の種類をあとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) ア 先生に言われたとおり行動する。
 家の前のとおりをトラックが走る。
 (2) イ ときがたつのも忘れて本を読みふけった。
 公共のものを大切にするように先生に言われた。
 (3) ア 雨が降ったときは、遠足は中止です。
 先生の話はきちんと聞くものだ。
 (4) イ たった今、駅に着いたところです。
 交通の便が悪いところに住んでいる。

(1)
(2)
(3)
(4)

3 次のそれぞれの文から、①人称代名詞と、②指示代名詞を、それぞれ一つずつ書き抜いて答えなさい。

(1) 君はそこでどんなことを学んできたのですか。
 (2) 彼女のお姉さんはどこに高校へ行っているのですか。
 (3) わたしは、あの人と一緒に来たことがある。
 (4) この本はぼくので、あれが永田さんの本です。

(1) 君はそこでどんなことを学んできたのですか。
 (2) 彼女のお姉さんはどこに高校へ行っているのですか。
 (3) わたしは、あの人と一緒に来たことがある。
 (4) この本はぼくので、あれが永田さんの本です。

2 次の文章から、①名詞をそのままの形で六つ書き抜いて答えなさい。また、②それをア普通名詞、イ固有名詞、ウ数詞、エ形式名詞、オ人称代名詞、カ指示代名詞に分類しなさい。(一度選んだものは二度選ぶ必要はありません)

「みんなが平等であるということは願いです。しかし、常にそうあるべきだといったら、これは神様にお願いするしかなくなってしまうのではないか、と私は思います。」

・	・	・
①	①	①
②	②	②
・	・	・
①	①	①
②	②	②

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨

ア 普通名詞
 エ 形式名詞
 オ 人称代名詞
 カ 指示代名詞
 イ 固有名詞
 ウ 数詞

3 動詞・形容詞・形容動詞

- ・力行変格活用——力行で変則的に活用する。「来る」一語だけ。
- ・サ行変格活用——サ行で変則的に活用する。「する」とその複合動詞
 (例「協力する」)だけ。

1 動詞の性質

- ・自立語で活用する。
- ・単独で述語になることができる。
- ・動作・作用・存在などを表す。
- ・言い切ったとき、ウ段の音で終わる。例「書く」「読む」「話す」
- ・語幹と活用語尾

2 語幹

- ・語幹=活用したときに、形が変わらない部分。例「書く」の「書」。
- ・活用語尾=活用したときに、形が変わる部分。例「書く」の「く」。
- 「か・き・く・け・こ・」などと変わる。

3 動詞の活用形

- ・未然形——まだ起こっていないという意味を表し、「ない・ぬ・う(よ)
- う・れる(られる)・せる(させる)」などに続く形。
- ・連用形——用言や「」や「ます・て(で)・た(だ)」などに続く形。
- ・終止形——「。」や「と・から・けれど・ね・わ」などに続く形。
- ・連体形——体言や「の・のに・ので」などに続く形。
- ・仮定形——「～すれば」のように仮定の意味を表し、「ば」に続く形。
- ・命令形——命令して言い切った形。
- ・動詞の音便——五段活用の連用形に「て(で)・た(だ)」が続く場合、特別な形(音便)になる。

イ音便 例「書いた」・撥音便 例「読んだ」・促音便 例「行った」

4 動詞の活用の種類

- ・五段活用——五十音図の五段にわたって活用する。例「聞く」
- ・上一段活用——五十音図のイ段に活用する。例「起きる」
- ・下一段活用——五十音図のエ段に活用する。例「寝る」

- 例 補助動詞 彼は中学生である。 父に話してみる。
 (動詞) 机の上に本がある。 テレビを見る。)

- *他動詞・自動詞——「何を」という対象を表すことばを必要とするもの
- 例 人を集める。(他動詞) 人が集まる。(自動詞)
- *可能動詞——「～できる」という意味を表す動詞。五段動詞からできたため、対応する五段動詞がある。下一段活用で命令形はない。
- 例 英語が話せる。(対応する五段動詞は「話す」)
- *補助動詞(形式動詞)——その動詞本来の意味が薄れて、上のことばを補助する意味に用いられる動詞。

基本形	語幹	活用		語尾
		未然形	連用形	
起きる	お	こ	か	い
聞く	き	き	き	く
寝る	ね	ね	ね	ね
する	語幹がない	語幹がない	語幹がない	語幹がない
来る	し	さ	せ	し
する	する	する	する	する
する	すれ	すれ	くれ	くれ
する	せよ	せよ	こい	こい

元気だ	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
元気								
だろ		未然形						
に で だつ		連用形						
だ		終止形						
な		連体形						
なら		仮定形						
○		命令形						

2 形容動詞の活用

- ・単独で述語になることができる。
- ・性質・状態などを表す。

*ウ音便——「(こ)ざいます・存じます」などのことばが続く場合、特別な

形容動詞の活用の種類も
一つしかないのに暗記してしま
いましょう。



1 形容動詞

- ・言い切ったとき、「い」で終わる。例「よい」
- ・言い切ったとき、「い」で終わる。例「よい」

*補助形容詞(形式形容詞)——その形容詞本来の意味が薄れて、上のこと

ばを補助する意味に用いられる形容詞。

例 補助形容詞 色が美しくない。

(形容詞)

机の上に本がない。

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
よい	よ	から	うくか	い	けれ	○	

- ・言い切ったとき、「い」で終わる。例「よい」
- ・言い切ったとき、「い」で終わる。例「よい」

- ・自立語で活用する。
- ・单独で述語になることができる。
- ・性質・状態などを表す。

形容詞の活用の種類は
一つしかないのに暗記してしま
いましょう。



確認問題

- 1 次のそれぞれの——線部の動詞を、言い切りの形に直して、書いて答えなさい。

□ へいちごが先生のところに立候補を届け出ると、そのうわさはあらしのよう
に教室の中を①かけめぐりました。②だまつてしまふ者、かげ口を言い合う
者。反応はさまざまですが、だれもがけつして③歓迎して④いなことは、
すぐに⑤見て⑥とれました。

④	①
⑤	②
⑥	③

2

- 語幹について説明した次の文章の□に入る最も適切なことばを、P6

- 4 「動詞の活用の種類」の活用表を参考にしながら書いて答えなさい。

□ 「聞く」の「①」のように、活用したときに、形が変わらない部分を語幹と言う。ただし、「寝る」は、形が変わらない部分が「②」であるのに、語幹を「②」としない。これは、語幹を「②」とすると、③形と④形がなくなってしまうからである。このように、動詞の中には、語幹がないものもある。<

①
②
③
④

③ 次のそれぞれの問いに答えなさい。

- (1) 次の動詞の活用表を完成させなさい。

主な語の例	あとに続く	基本形							
		語幹		未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
う(you)	ない・ぬ								
た(dai)	ます・								
切る	言い								
とき	とき								
ば									
言い切る	命令して								

□(2) ①～⑧の動詞の活用の種類を書いて答えなさい。

⑤	①
形	形
⑥	②
形	形
⑦	③
形	形
⑧	④
形	形



感想文が上手に書けたので、満足する。
友達に手紙を書こうと思う。
道路を渡るときは車に注意しろ。
新しい洋服を着て、デートに行く。
百メートルのタイムが十二秒を切る。
約束したのに、彼は来ない。
説明をよく読んでから問題に取り組む。
辞書で調べればわかる問題。

下一段活用は、真ん中の
段より一段下の段に活用
するから下一段活用と
いうんだ。

- (3) ①～⑧の動詞から、音便の形をとることがあるものをすべて選び、番号を書いて下さい。
- (4) 上の活用表を参考にしながら、次のそれぞれの一線部の動詞の活用形を書いて下さい。

⑦	⑤	③	①
活用	活用	活用	活用
⑧	⑥	④	②
活用	活用	活用	活用



(4)	(1)
形	形
(5)	(2)
形	形
(6)	(3)
形	形
(7)	(4)
形	形
(8)	(5)
形	形
(9)	(6)
形	形
(10)	(7)
形	形
(11)	(8)
形	形
(12)	(9)
形	形

(2)	(1)
④	①
まじめな なで	まじめな らば
まじめな る	まじめだ う
まじめに なる	まじめだ れども
まじめだ れども	まじめだ れども
まじめだ れども	まじめだ れども
形	形
(4)	(1)
形	形
(5)	(2)
形	形
(6)	(3)
形	形
(7)	(4)
形	形
(8)	(5)
形	形
(9)	(6)
形	形
(10)	(7)
形	形
(11)	(8)
形	形
(12)	(9)
形	形

6 次のそれぞれの——線部の、(1)形容詞と(2)形容動詞の活用形を、それぞれ書いて答えなさい。

(1) 美しかろう
美しければ

(2) 美しかつた
美しいので

(3) 美しい花
美しいけれども

(1) 書く
(2) 買う
(3) 言う
(4) 読む

(1) 残る
(2) 並ぶ
(3) 乱れる
(4) 過ぎる

5 次のそれぞれの五段活用の動詞から作られる可能動詞を、書いて答えなさい。

4 次のそれぞれの自動詞に対する他動詞を、書いて答えなさい。

練成問題

1 次のそれぞれの動詞の活用の種類を、それぞれあとから選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|------|-----|-----|
| (9) | (5) | (1) |
| (10) | (6) | (2) |
| (11) | (7) | (3) |
| (12) | (8) | (4) |
- エ 五段活用
ア カ行変格活用
イ 上一段活用
オ サ行変格活用
ウ 下一段活用

2 次のそれぞれの——線部の動詞の活用形をあとから選び、記号で答えなさい。

(4) (1) (4) (1) (2) (1) (4) (1)
④ ① ④ ① ④ ① ④ ①
来る 来る 言った 言おう 調べよ。 調べよう。
ます 人 言う 説く 調べる。 調べよう。
⑤ ② ⑤ ② ⑤ ②
来い。 来れば 言うので 言うこと 調べる。 調べたい。
⑥ ③ ⑥ ③ ⑥ ③
来る 来るから 言えば 言うが 調べる。 調べれば
られる から 言うもの

- | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| (10) | (9) | (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
- この本から多くの知識が得られた。
あと五分で駅に着けば、電車に間に合う。
テレビを見ながら勉強をする。
明日、祖父母が遊びに来る。
ピアノを弾いているのは、私の妹です。
一生懸命に努力すれば、夢はかなう。
彼は私に、もう帰れ、と言った。
十二時を過ぎても姉が家に帰ってこない。
そんなに冷たいものを飲むと、腹をこわすよ。
久しぶりに郷里の両親に会つた。

③ 次のそれぞれの文の——線部の、Ⓐ活用の種類とⒷ活用形を、あとからつづつ選び、記号で答えなさい。



(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥

ア 未然形	イ 連用形	ウ 終止形	オ 仮定形	力 命令形
④ する よう だ	② し な い	③ し な が ら	⑤ さ せ る	⑥ せ め

・	・	・	・	・	・	・	・
①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②
活用							
③	③	③	③	③	③	③	③
形	形	形	形	形	形	形	形

④ 次の文章から、①動詞をそのままの形で七つ書き抜いて答えなさい。また、②その活用の種類と③活用形を書いて答えなさい。

□ ～買い物のビニールぶくろをさげて部屋に入ってきた母親は、年齢よりも若く見える。母親は、買い物のビニールぶくろをテーブルの上に置くと、夕食のしたくをするために、エプロンをつけた。～

(9)	(5)	(1)
Ⓐ	Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ
(10)	(6)	(2)
Ⓐ	Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ
(7)	(3)	
Ⓐ	Ⓐ	
Ⓑ	Ⓑ	
(8)	(4)	
Ⓐ	Ⓐ	
Ⓑ	Ⓑ	

エ 連体形	ア 未然形	イ 連用形	ウ 終止形	オ サ行変格活用	力 命令形
Ⓑ	ア	ア	ア	五段活用	イ 上一段活用
				力行変格活用	ウ 下一段活用
Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	オ サ行変格活用	

5 次のそれぞれの文の——線部の形容詞(1)～(9)と形容動詞(10)～(18)の活用形をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(10)	(1)	□ (1) 姉は優しいので、だれからも好かれる。
(11)	(2)	□ (2) 大きくて、はつきりした声で意見を述べる。
(12)	(3)	□ (3) スカートは新しいが、ブラウスは古い。
(13)	(4)	□ (4) もう少し早ければ、バスに乗れた。
(14)	(5)	□ (5) この絵が完成したら、どんなに素晴らしいだろう。
(15)	(6)	□ (6) 中学生らしい格好をするように注意される。
(16)	(7)	□ (7) 昨日はそれほど寒くなかった。
(17)	(8)	□ (8) そんな格好では寒かろう。
(18)	(9)	□ (9) ピアノの練習は、毎日やるのが望ましい。
		□ (10) 夜は静かだろうが、昼はうるさい。
		□ (11) 母親は陽気な性格をしている。
		□ (12) 疑問点が明らかになる。
		□ (13) 祖父は、いつも丈夫で健康的だ。
		□ (14) 皆がもっと協力的なら、入賞できたかも知れない。
		□ (15) ウエディングドレス姿の姉は、とてもきれいだった。
		□ (16) 路上駐車は迷惑だからやめてほしい。
		□ (17) 元気なのがぼくの取り柄だ。
		□ (18) 波がおだやかならば、泳げるだろう。



6 次の文章から、①形容詞をそのままの形で四つ書き抜いて答えなさい。また、②その活用形を書いて書いて答えなさい。

□ 子雀は、声こそが細くて幼いが、小さな体でも独り暮らしできる力をもっている。近づくと、もう少しという感じですと飛び立ってしまう。くやしいがぼくの負けだ。つかまるることは、発育のおそい子雀を探し、それを徹底的に追い回すことだ。そのうち子雀は疲れて動けなくなる。』

7 次の文章から、①形容動詞をそのままの形で四つ書き抜いて答えなさい。また、②その活用形を書いて書いて答えなさい。

□ 内気でおとなしい美香は、新しいクラスになじめずにいた。その美香に最初に声をかけたのは、学級委員の優子だった。積極的な性格の優子といっしょに行動するうちに、ひかえめだった美香が、しだいに活発になっていった。』

・	・	・	・
①	①	①	①
②	②	②	②
形	形	形	形

・	・	・	・
①	①	①	①
②	②	②	②